

京都新聞社が運営する専門家サイトで掲載中。



日本の伝統工芸が秘める可能性を開花させるモダンなデザイン
(1/3)



プロダクトデザインをメインに、ブランドプロデュース全般を担う

金箔押しスタイリッシュな革財布、数珠に使われてきた銘木のネックレス。「Design*Magica(デザインマジカ)」のホームページに並ぶナカジマミカさんの作品は、日本の伝統工芸ならではの繊細な技術と、モダンなデザインのコラボレーションによる、唯一無二の存在感を放つものばかりです。プロダクトデザインをメインに、ロゴデザイン、販路開拓、広報宣伝、ディスプレイといったブランドプロデュース全般に関わっています。

「ゴールドリーム(GOLDREAM)」もその一つ。仏壇仏具を手がける京都の金箔押し工房が、なめし革に金箔を押し技術をかかして立ち上げたブランドです。「赤や黒に合わせると伝統的すぎるため、モダンで優美なカラフルレザーとのカップリングで、フォルムはシンプルに。金を大胆にあしらいながらも普段使いできる仕様をめざしました」。ファッション性が高く、Facebookやinstagramを通して、若いユーザーから大きな反響があります。

「金箔は0.0001ミリの薄さ。それを革製品が仕上がってから手で押すというこだわりの独自技術あってこそこのデザインです。この技術をベースにブランディングをしているケースは見当たらず、マーケットへの刺激も大きい。ロゴマークには、竹の箸で金箔をつまむという伝統工芸ならではの繊細なものづくりのシーンを表現しました」。このブランドをはじめ、伝統工芸についてはほぼ8割、立ち上げの段階からトータルで関わっています。

伝統工芸のブランドイメージを高める商品デザインのプロ



075-708-2910

氏名 ナカジマミカ

Design*Magica
京都市下京区五条通高倉東入堺町21

京都・滋賀で活躍する専門家がさがせます

マイベストプロ京都は京都新聞社運営の

「地元で活躍する専門家を紹介する」WEBガイドです。

あなたが困った時や何かを始めたいときに、京都・滋賀で活躍している

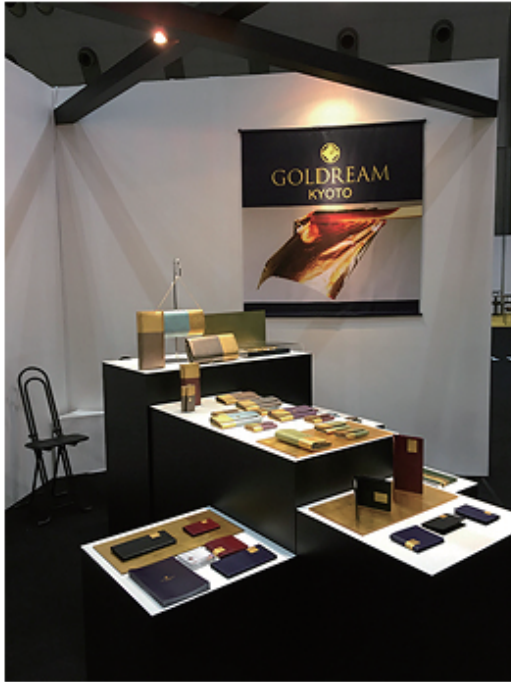
専門家やプロフェッショナルな方々を簡単に探すことができ、

WEBガイド上から直接お問い合わせいただけます。





日本の伝統工芸が秘める可能性を開花させるモダンなデザイン (2/3)



大手メーカーで培ったスキルで、伝統工芸の技が冴えるものづくりを

「土壁、格子戸、床の間といったしつらえの京町家に生まれ、瓦屋根が美しい京都の街並みに包まれて育ちました。シャープに入社して「ヘルシオ」などのプロダクトデザインを担当してきましたが、つくり手の技が冴える伝統工芸に憧れ、私のスキルがいかせれば…という気持ちが強くなって独立しました」。オフィス名「Design*Magica」には、つくり手に寄り添う「間近」と、ユーザーに感動を起こす「Magic」の意味がこめられています。

ナカジマさんの強みは、伝統工芸の技を日常のモダンライフスタイルに落としこむデザイン。メーカーと二人三脚で商品を生み出し、育て、ユーザーの手に届くところまでを提案します。「大手企業でものづくりをしてきた経験から、私のセンスを前面に出すのではなく、その商品がどうあるべきか、つくり手にとって何がベストか、ユーザーにどう受け入れられるかを、さまざまな要素から紡ぎ出せるようなアプローチを優先しています」

京座布団×西陣織のクッション、国産シェア7割という数珠の生産地によるレアウッドのネックレス、モダンにアレンジした間仕切り戸や箱箆など、インテリアとファッションを中心に、守備範囲は大きく広がっています。またものづくりの講師をするなかで出会ったグループ「D4」とは、メーカーも素材も異なる4カテゴリーの伝統工芸で「和カフェ空間にフィットする」をコンセプトにブランドを立ち上げるといふ、新しい試みも成功させました。

伝統工芸のブランドイメージを高める商品デザインのプロ



075-708-2910



氏名 ナカジマミカ

Design*Magica

京都市下京区五条通高倉東入堺町21

マイベストプロの5つの約束

- 1 運営事務局の掲載基準に沿った審査。
- 2 掲載者に実際にお会いして取材。
- 3 掲載者の想い、顔が見える。
- 4 地元にこだわりがある方限定。
- 5 各分野の専門家の知恵が集まる。





日本の伝統工芸が秘める可能性を開花させるモダンなデザイン

(3/3)



世界へのアピール、オリジナルブランド立ち上げなどを次の目標に

そんなナカジマさんの新機軸となったのが、高齢者の外出をサポートする介護支援ロボットの開発です。「めざしたのは、一緒に歩くと元気になって、外に出かけたいような、軽やかで楽しい色とかたち。バリアフリー展示会ブースのディスプレイも、インテリアのテイストを盛り込んだソフトな表現を心がけました」。「ナカジマミカブランド」が前面に大きく打ち出され、製品説明の動画も制作。高い評価を受けることができました。

「伝統工芸の世界には、技術をすたれさせたくない、受け継ぐ人を絶やしたくないという強い思いがあります。一方で日本が得意とする介護ロボットなどの先進技術も、使う人がなじめるかどうかという課題を抱えている。どちらも世界のバイヤーが訪れる展示会で注目を浴びていますから、人の心に響く日本らしいディスプレイと効果的な広報戦略で世界の人々にアピールし、それが国内への刺激にもつながることを期待しています」

「伝統工芸で扱いたい素材はまだたくさんあります」と、ナカジマさん。今後はオリジナルブランドを立ち上げて「これまでしてこなかったこともしたい」といいます。「京組紐、絞り染め、竹細工など、埋もれている伝統工芸、オリジナルテイあふれる手仕事、興味深い技術を見つけ出し、新しい発見があるところと一緒にものづくりがしてみたいです。並行して、伝統工芸を前面に出したショールームも整備しようと考えています」

(取材年月:2017年4月)

伝統工芸のブランドイメージを高める商品デザインのプロ



075-708-2910



氏名 ナカジマミカ

Design*Magica

京都市下京区五条通高倉東入堺町21

詳しくはWEBへ。 <http://mbp-kyoto.com/design-magica/>

マイベストプロの特長

- 1 審査を通過した質の高い専門家のみ掲載!
- 2 顔の見える専門家だから安心・信頼できる!
- 3 商品情報だけでは見えない、人となりを紹介します!

